

システム変更等のお知らせ

(2023.3.1 - 2023.4.30 変更)

1. ハードウェア

1.1 Wisteria/BDEC-01 スーパーコンピュータシステム

縮退運転 ※縮退ノード数は変更する可能性があります

debug-o: 768 ノード -> 384 ノード (384 ノード停止)

priority-o: 1,152 ノード -> 384 ノード (768 ノード停止)

regular-o: 5,376 ノード -> 4,608 ノード (768 ノード停止)

1.2 Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステム

… なし

1.3 Ipomoea-01 大規模共通ストレージシステム

… なし

2. ソフトウェア

2.1 Red Hat Enterprise Linux 8 (Wisteria/BDEC-01)

➤ Odyssey

ABINIT-MP (富士通コンパイラ v1.2.37 で構築)	(2023.4.21)
----------------------------------	-------------

➤ Aquarius

Arm DDT/MAP	v22.1.3	(2023.3.31)
-------------	---------	-------------

MATLAB	R2022b(Update 4)	(2023.4.21)
--------	------------------	-------------

➤ ログインノード

MATLAB	R2022b(Update 4)	(2023.4.21)
--------	------------------	-------------

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.2 Red Hat Enterprise Linux 7, CentOS 7 (Oakbridge-CX)

Arm DDT/MAP	v22.1.3	(2023.3.31)
-------------	---------	-------------

MATLAB	R2022b(Update 4)	(2023.4.19)
--------	------------------	-------------

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.3 Red Hat Enterprise Linux 8 (Ipomoea-01)

… なし

3. その他

3.1 2023 年度 Wisteria/BDEC-01 の運用について

昨今の電気料金高騰に伴い、2023 年度は各システムの電気料金が利用負担金収入を大幅に上回ることが見込まれます。収支を勘案し、2023 年度利用負担金について値上げを実施させていただくこととしましたが、値上げ幅を緩和するため、消費エネルギーの多い Wisteria/BDEC-01 Odyssey の計算ノードについて 2023 年度は一部を稼働停止とします。利用者皆様にはご負担をおかけすることになりますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。2023 年度中に電気料金の状況が好転した場合は、Odyssey の計算ノードの稼働を増やす予定です。

縮退状況 (2023 年 4 月 1 日時点) ※縮退ノード数は変更する可能性があります

```
debug-o: 768 ノード -> 384 ノード (384 ノード停止)
priority-o: 1,152 ノード -> 384 ノード (768 ノード停止)
regular-o: 5,376 ノード -> 4,608 ノード (768 ノード停止)
```

3.2 Wisteria/BDEC-01(Odyssey) における OS バージョン変更と富士通コンパイラのデフォルトバージョン変更について

Wisteria/BDEC-01(Odyssey)において OS のバージョンを Red Hat Enterprise Linux 8.5 から Red Hat Enterprise Linux 8.3 に変更しました。本変更に伴い、hwloc ライブラリの非互換性変更が行われ v1.2.36 の富士通コンパイラが利用不可となるため、富士通コンパイラのデフォルトバージョンを v1.2.36 から v1.2.37 に変更しました。v1.2.37 では累積障害修正が適用されており性能が改善する可能性があるため、プログラムの再コンパイルを推奨いたします。以下の操作を実施した場合、デフォルトバージョンが設定されます。

```
[username@wisteria01 ~]$ module load odyssey
または
[username@wisteria01 ~]$ module load fj
```

以前のバージョンを使用する場合、module コマンドで使用するバージョンを指定ください。

+ Fujitsu Development Studio v1.2.35 を使用する場合

```
[username@wisteria01 ~]$ module purge
[username@wisteria01 ~]$ module load fj/1.2.35
```

3.3 Wisteria/BDEC-01 における pjsub コマンドの機能改善について

pjsub コマンド実行時の-x オプションにおいて、Wisteria/BDEC-01(Odyssey)用 FEFS クライアントパラメータを変更する環境変数 (PJM_FEFS_CACHE_MODE) を追加いたしました。

mode	FEFS クライアントパラメータ		
	max_cached_mb	max_dirty_mb	direct_io_pages
未指定 (デフォルト)	128	4	16
1	128	512	0
2	512	64	0
3	1024	64	0

各パラメータの詳細等は利用支援ポータルのできゅめんとくわんらんより利用手引書をご参照ください。

3.4 Oakbridge-CX サービス終了について

Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステムは **2023年9月26日 9:00** をもってシステムを停止し、すべてのサービスを終了致します。詳細について決まり次第 Web ページ、メール、スーパーコンピューティングニュースにて順次ご連絡致します。

Oakbridge-CX サービス終了にあたっては以下の点にご注意ください。

- サービス終了の時点にて、Oakbridge-CX のキューに残存するジョブはすべて削除致します。
- サービス終了後のスーパーコンピュータのご利用につきましては Wisteria/BDEC-01 をご検討ください。
- 通常利用 (一般) にて Oakbridge-CX をご利用の方は「トークン移行」を行うことが可能です。Wisteria/BDEC-01 への移行をご検討の利用者様につきましては「トークン移行」も併せてご参考ください。「トークン移行」についての詳細は Web ページ (https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/guide/application/transfer_token.php)をご参照ください。
- トークン移行をお申しいただく場合は、**9月26日 9:00 までにお申込ください**。期限後の申込はお受けいたしかねます。また、サービス終了時点で残トークンがあったとしても他システムへの移行や返金等はできません。
- ファイルの移行先については、前述の Wisteria/BDEC-01 以外に「大規模共通ストレージシステム

(Ipomoea-01) もご利用頂けます。「Ipomoea-01」についての詳細は Web ページ(<https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/supercomputer/ipomoea01/service/application.php>)をご参照ください。なお、ファイルの移行作業は利用者様ご自身で実施願います。

- 利用負担金の請求書発行は、2022 年度内に事前申し込みをいただいた分については利用開始月に関わらず 11 月、2023 年度申込分については 12 月となります。